

2011年度の環境目標と実績

2011年度は、5つの環境目的に対して具体的な目標を設定し環境保全活動を推進してきましたが、一部目標を達成することができませんでした。新年度も引き続き改善に努め、目標達成に向けて積極的に環境保全活動を推進していきます。

※ 評価記号 ○：達成、△：取組中、×：未達成

目的	目標	実績	評価	参照
省エネルギーの推進	<b>エネルギー消費(原単位ベース)</b>			
	全社 前年度比:1%削減	3.0%削減	○	P12
	内、大阪地区 前年度比:1%削減	5.5%削減	○	
内、京都地区 前年度比:1%削減	(注1) 5.4%増加	×		
地球温暖化防止	<b>CO<sub>2</sub>排出量(原単位ベース)</b>			
	大阪地区《2011年度目標》 2008年度基準3%削減	6.1%削減	○	P12
	京都地区《2013年度目標》 2010年度基準4.2%削減	(注1) 24.6%増加	×	
<b>物流の環境負荷低減</b>				
	・モーダルシフトの推進(注2) 東大阪→佐賀間 東大阪→福岡間	鉄道貨物輸送の利用継続 CO <sub>2</sub> 排出量の削減:157t/年	○	P11
化学物質リスクの低減	<b>VOC排出量の削減</b>			
	大阪地区《2013年度目標》 2008年度基準10%削減	(注3) 4.9%削減	△	P10
製品の環境負荷低減	<b>環境配慮型製品の開発</b>			
	◇ノンハロゲン化 ◇RoHS指令対応 など ・電磁シールドフィルム SF-PC6000-U1 商品化		○	P14
	・協力会社への環境調査	2社実施	○	P8
リサイクルの推進	<b>ゼロエミッション率</b>			
	2%未満 (銅・アルミ屑を含む)	0.4%	○	P10

(注1) 京都工場からの一部事業の撤退による生産量の減少に伴い、目標は未達成となりました。しかし、省エネに努めエネルギー使用総量とCO<sub>2</sub>排出総量を削減しました。  
(参考: CO<sub>2</sub>は、温暖化効果ガスの一つで、地球温暖化の原因の一つとされています。)

(注2) 住電日立ケーブル(株)および大電機との共同運営です。

(注3) 揮発性有機溶剤の使用量削減に努め、VOC排出量は増加から削減に転じましたが、中間目標の6%削減は未達成となりました。  
(参考: VOCは、塗料、インクなどに溶剤として含まれている、蒸発しやすく、空気中で気体になる物質で、トルエン、キシレンなどが該当します。また、光化学スモッグの原因の一つとされています。)

環境負荷マテリアルフロー

タツタ電線が大阪地区と京都地区で生産活動に投入したエネルギーと資源、および排出されたCO<sub>2</sub>と廃棄物など、環境負荷実績は以下の通りです。

2011年度実績

IN PUT

エネルギー・天然資源など			
電力	3,200万 kWh/年	ガソリン	3,600 ㎘/年
都市ガス	730,000 m <sup>3</sup> /年	軽油	64,000 ㎘/年
用水 (上/工業用水)	250,000 トン/年	L P G	2 トン/年

サプライヤーからの 原材料
銅原料 26,000 トン/年
金属材料 1,000 トン/年
樹脂材料 10,000 トン/年

事業活動(生産・営業など)



製品
製品銅量換算 24,000 トン/年

排出物			
【排水など】		【廃棄物】	
CO <sub>2</sub>	13,000 トン/年	有価廃棄物	3,100 トン/年
NOx	1 トン/年	産業廃棄物	420 トン/年
排水	200,000 トン/年	内、化学物質 (PRTR対象物質)	37 トン/年
		一般廃棄物	14 トン/年

OUT PUT